

## 2018年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2018年6月17日(日)	実施ブロック	第2ブロック	参加人数	41名
会場	葛飾区水元総合スポーツセンター				
大会名	葛飾区区民大会 第61回少年少女サッカー大会				
指導員名	川澄正史、後藤真由美				

### 指導会当日の概要

- ・主テーマは、審判員の試合前打ち合わせであった。
- ・会議室にて、第一試合および第二試合担当審判団4名と各観戦者16名ほどの2グループに分かれ、20分間ほどの打ち合わせを実施。
- ・人工芝フルピッチにて6年生イレブンの20分ハーフ2試合。
- ・観戦時にブロック内指導員による観戦研修の実施。
- ・試合後に審判団と審判育成指導員との振り返りを実施。

### ブロックコメント

- ・2Bは、江戸川区と葛飾区で構成されておりますが、リーグ戦の消化及び、各区の大会実施等の関係で、2区同時での研修会実施が日程的に難しい為、研修会も其々に対して行なう様に調整致しました。
- ・今回は、葛飾区所属のチームを対象に葛飾区の大会を利用し実施致しました。
- ・普段の帯同審判では、時間的な余裕も無く、打合せ等も十分にされていないのが現状です。そこで、本来の審判員がすべき事の、打合せ・フィールドチェックから振り返りまでを経験して頂き、その重要性を知って頂き、今後の審判活動に活かして頂きたいと思い実施致しました。
- ・指導員の川澄様、後藤様の両名の豊富な経験を基に、的確かつ親切な指導内容を受け、参加審判員も「大変参考になり良かった」との感想を申しておりました。川澄様、後藤様には、お礼申し上げます。
- ・今後もこの様な研修会を続けて行きたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

### 指導員コメント

- ・各審判団による試合前打ち合わせ時間は短く済んでしまったが、続けて、実施意義を説明し、重要な項目は何か、どのように話すか等を説明したので、一定のご理解を頂けたと思う。
- ・試合のレフェリングについては各人が任務を果たすべく真剣に務められていた。
- ・試合後の振り返りでは、審判団4名と事前打ち合わせが生かされたかの観点で意見交換を行った。
- ・実際の場面と打ち合わせ事項との対応について説明させて頂き、打ち合わせの必要性を再認識頂けたと考える。

### 指導会写真



## 2018年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2019年1月13日(日)	実施ブロック	第4ブロック	参加人数	6名
会場	杉並区立四宮小学校				
大会名	第30回杉並区新人大会				
指導員名	村上泰一、川澄正史				

### 指導会当日の概要

- ・大会トーナメントの準々決勝・準決勝計6試合の主審および第四審判を参加審判員6名が務め、副審をチーム帯同審判が務めた。決勝は参加審判員のうち4名が務めた。
- ・各試合直後に振り返りを主として主審・第四審判に対して実施した。また各試合振り返り後には短時間であるが観戦研修を行った。女性審判員およびユース審判員の参加はなかった。
- ・試合時間は40分、決勝戦の決着は延長Gゴールで決した。

### ブロックコメント

- ・今回のような実際にゲームをモチーフにした、その場においての適切なアドバイスやコメントを受けたことにより、4ブロック審判員全員が同時に共有し認識出来たことは大変有意義だったと思います。
- ・特にレフリングに関してのアドバイスでは、ポジショニングの大切さを参加者全員が痛感したと思います。
- ・ベストポジションをキープするには、動きだしや運動量の大切さ等々を分かりやすく説明していただき感謝いたします。又、レフリング直後の主審のメンタル面での話も大いに参考になりました。
- ・次回の希望としましては、委員長及び各役員と相談の上、各チームの審判員も参加出来るような機会を作り講習会を企画していきたいと思います。

### 指導員コメント

- ・低気温ながらも冬期にしては風もなく天候に恵まれ、未明の雨の影響もない良好なグラウンドで実施された。
- ・父母の観戦エリアや本部その他、よく整えられた環境で試合が行われた。
- ・大会準備・運営に関するブロックスタッフのよいチームワークが感じられた。
- ・登録審判員数が少ないことが少々残念であるものの参加審判員の意識はかなり高い。
- ・自身の技術向上には、実技に対する直接指導が効果的であるのは言うまでもないが、機会が少ない場合には、競技規則書を読みながら試合を振り返ることも有効であるので、各自補われたい。終日の大会、お疲れ様でした。

### 指導会写真





## 2018年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2018年4月8日(日)	実施ブロック	第6ブロック	参加人数	100名
会場	赤羽スポーツの森公園競技場				
大会名	第6ブロック審判講習会				
指導員名	古賀研二、池尻 健				

### 指導会当日の概要

- ・6ブロックが開催している試合を担当している審判員を対象に(約100名)、実技講習および座学を実施しました。
  - ・実技講習(90分)は、「主審の動きとポジショニング」「副審の動きとシグナル」「オフサイドの判定」をテーマに、プラクティカルトレーニングを実施しました。
  - ・座学(60分)は、「2017/18競技規則改正に関する補足」を解説しました。
- また、「審判員に必要なものは？」をテーマに、全受講生でグループディスカッションを実施しました。

### ブロックコメント

- ・本日はお忙しい所、誠に有難うございました。
- ・本日の講習会をブロック内において、各チームの活動に反映してもらえるよう、ブロック役員一同本日の反省会にて再確認し 終了することが出来ました。
- ・今後とも、何卒宜しくお願い致します。

### 指導員コメント

- ・人数が多く非常にタイトなスケジュールでしたが、受講生は、積極的かつ真剣にメニューに取り組み、普段の審判活動への意識の高さが感じられました。
- ・実技講習に関しましては、受講者の審判技術がまちまちのことだったので、基本的な審判技術の習得および全受講者ができるだけ体験できることをコンセプトに、プラクティカルプランを作成しました。
- ・経験が浅い受講者は、基本技術の習得でき、ベテランの受講者は、基本技術の再確認ができたと考えます。
- ・座学に関しましては、受講生の競技規則改正の理解が深まり、ディスカッションにより、改めて審判員が行うべきことが確認できたと考えます。

### 指導会写真



## 2018年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2018年10月28日(日)	実施ブロック	第9ブロック	参加人数	38名
会場	調布西町グラウンド				
大会名	2018年度全日本U12選手権ブロック大会予選				
指導員名	佐藤克久、丸山和雄				

### 指導会当日の概要

- ・2018年度全日本U12選手権大会第9ブロック大会2日目12試合のなかの5試合分を使い、審判技術の基本を中心とした指導を行なった。
- ・合わせて、第5試合目を観戦育成指導会とし、ブロック全チーム審判員参加のもと実施することとした。(4人制審判)

### ブロックコメント

- ・今回の育成指導会には9ブロック4市(調布、三鷹、武蔵野、狛江)の各チームから、38名の参加がありました。
- ・全日本9B大会の試合を観戦しながらご講義いただきましたが、受講者は、佐藤、丸山両育成指導員のコメントを熱心に聞き入っていました。
- ・9ブロックでは『選手の育成は、指導者と審判員が車の両輪となってレベルアップしていく必要がある。』と考え、審判部を中心に審判員育成に力を入れております。
- ・今回の審判育成指導は審判員がレベルアップを図る機会として大変有意義なものとなりました。
- ・受講者からも『今後もこのような機会を作って頂きたい。』という意見が多数寄せられました。
- ・今後もブロックとして熱意ある審判員の育成に積極的に取り組んで参りますので、ご指導のほど、よろしくお願いいたします。

### 指導員コメント

- ・参加者38名の中、2面を使い各5試合を通し育成指導をおこなった訳だが、初心者に加え、全日本予選ということもあり、皆それなりに熟練した経験を持つ審判員、指導者も居て、質問内容等にも不測の事態での対応方法等、ワンランク上の考え方を持つ方々が居たことに、ブロック全体でスキルを上げていこうとすることへの良い姿勢の現れと感じ好感が持てた。

### 指導会写真



## 2018年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2018年9月2日(日)	実施ブロック	第12ブロック	参加人数	9名
会場	日野市北川原公園グランド				
大会名	JA5年生大会1次予選				
指導員名	鬼木崇嗣、杉野哲郎				

### 指導会当日の概要

- ・第30回JA東京カップ12B1次予選を使用して、U-12ブロックリーグでの審判指導の際にブロックにて選出された審判員9名を指導したものである。
- ・全員が中央大会での活動を希望しており、その観点での審判レベルの見極めも重視した。

### ブロックコメント

- ・雨の中を鬼木様、杉野様にご指導いただきました。
- ・参加者7名は12B内での指導とは違う指導員による振り返りにより新しい発見や気づきがあり、良かったと思います。
- ・大変ありがとうございました。
- ・尚、写真撮影を失念しておりました。今になって気が付いた次第です。

### 指導員コメント

- ・今次育成指導対象審判員はブロックが中央大会での活動を意識して選出した3級審判員9名であったことから、いずれも3級としての基本的な知識・審判技術は身につけている。
- ・特に意識の高さが感じられた。

### 指導会写真

なし



## 2018年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2018年11月25日(日)	実施ブロック	第14ブロック	参加人数	33名
会場	小平市小川西グラウンド				
大会名	第14回 小平市選抜招待大会				
指導員名	池尻 健、高木和男				

### 指導会当日の概要

- ・参加者は、33名(午前の部:16名、午後の部:17名)でした。
- ・構成は、大部分が4級審判員で、通常はチームの帯同審判としての活動でした。
- ・審判割当(主審、副審、第4審)は14ブロックが実施しました(主審は審判経験を考慮)。
- ・指導目標は、「動きとポジショニング」「正しいシグナル」としました。
- ・指導方式は、審判割当をもとに試合の審判対応していただき、試合後審判団には振り返りを実施、審判団以外には試合を観戦しながら指導を行いました。

### ブロックコメント

- ・東京都少年サッカー連盟審判部より2名の講師をお招きして実技研修を行いました。
- ・試合は、小平市協会少年部のご協力により、選抜招待大会2日目の順位別リーグ12試合(2面同時進行、午前6試合、午後6試合)を利用させていただきました。
- ・審判研修会は、午前の部 9時～12時半、午後の部 13時～16時 に分けて開催しました。
- ・4審制で、参加者は午前16名・午後17名で合計33名。ユース審判員、女子審判員の参加は無しです。
- ・特に『審判員の動きとポジショニング』についてアドバイスいただきました。
- ・試合後に講師と参加者でディスカッションをしながら、試合での改善点等、アドバイスを頂きました。また、講師からの解説やアドバイス、参加者からの質問等、たくさんの会話があり非常に良かったと思います。
- ・今後も各市内大会・ブロック大会等で、この経験を生かしてより良いジャッジをして頂ければと思います。

### 指導員コメント

- ・今回の参加者は、通常はチームの帯同審判として活動されている方とのものでしたので、争点を正しく見るための「動きとポジショニング」および「正しいシグナル」を中心に指導させていただきました。
- ・参加された方には非常に熱心に指導を聞いていただき、積極的に質問もしていただき、有意義な育成指導会になったと思います。
- ・今後の審判活動のお役に立てばと思います。

### 指導会写真

